

(別紙2)

学年	原典 ページ	行	変更 事項	変 更 内 容	備 考
2 年	10		変更	「ノートづくり方」については、ノートをつくる ときのポイントを先に列挙したあと、ノートの例 を示した。また、ノートの例は点字で書けるように 次のように変更した。 (ノートの例1) 7 月 10 日 (木) 教科書 p メ (トライ2) 角の大きさを求めよう。 教科書 p メ 図 35 において、$l \parallel m$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めようと思います。 直線を 1 本加えて、考えてみましょう。 (自分の考え) C B を延長させた補助線をひき、直線 l との交点 を D とする。 平行線の錯角は等しいから $\angle ADB = 40^\circ$ $\triangle ADB$ において、内角と外角の性質から $\angle x = 25^\circ + 40^\circ = 65^\circ$ (BC をのばして三角形をつかった。) (ひびきさんの考え) 直線 l、m の垂線で、点 B を通るような補助線を ひくと、$\angle ADB$ において、内角と外角の性質から $\angle DBA = 180^\circ - (25^\circ + 90^\circ) = 65^\circ$ $\triangle BEC$ において、内角と外角の性質から $\angle CBE = 180^\circ - (40^\circ + 90^\circ) = 50^\circ$ よって $\angle x = 180^\circ - (65^\circ + 50^\circ) = 65^\circ$ (ひびきさんは、垂線をひいて直角三角形をつくっ た。) (まなとさんの考え) 点 B を通り、直線 l、m と平行な補助線をひく と、平行線の錯角は等しいから $\angle ABD = 25^\circ$ $\angle DBC = 40^\circ$	編集の具体的内容(3)① ③ ノートの日付について、 原典教科書は伏字となっ ているが、点字の場合、 メの字を伏字として用い た場合と数字ではその後 のマス空けが異なるた め、仮の日付を入れた。 また、教科書のページも 「p メ」とした。

(別紙 2)

			よって $\angle x = 25^\circ + 40^\circ = 65^\circ$ (まなとさんは、平行線の性質を利用しようと考えた。) 最初にある線に平行な直線をひくことで平行線の性質が使える。 (考えたこと) 自分は三角形をつくることを考えて補助線をひいたけど、平行線をひくという方法があることを知った。 利用できそうな図形の性質を考えてから、補助線をひくとよい。 疑問：最初、AとCを結んで考えたけどうまくいかなかった。この方法では求められない？ (感想) 1つの角度を求めるのでも、たくさん方法があることがおもしろかった。ほかにも補助線のひき方があるのか調べてみたい。 また、補助線をひいて考えるようなほかの問題を考えてみたい。 (ノートの例 2) 4 月 28 日 (月) 1. $4 a b \div \frac{2}{3} b = 4 a b \times \frac{3 b}{2} = 6 a b^2$ (答え) (逆数にするときに間違えた。) 訂正 $\div \frac{2}{3} b$ は $\div \frac{2 b}{3}$ だから、逆数になおすと $\times \frac{3}{2 b}$ となる。 正しい答え $6 a$	
12～13	写真	削除	東京スカイツリー、メリーゴーラウンド、国際宇宙ステーションの写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
12	2	変更	空らんが数か所あるため、空らんに記号をつけ	編集の具体的内容(3)③

(別紙2)

			た。また、東京スカイツリー、メリーゴーラウンド、国際宇宙ステーションの順に1. ～3. とし、冒頭の文章の「□にあてはまる文字式を」を「次の1. ～3. の中の(ア)□～(オ)□にあてはまる文字式を」に変更した。	
13	5	変更	メリーゴーラウンドの説明の中の「周から柵まで」を「メリーゴーラウンドの周から柵まで」に変更した。	編集の具体的内容(3)①
13	図	変更	地球と国際宇宙ステーションの周回軌道の図について、一部を取り出した弧の図ではなく、円に変更した。	編集の具体的内容(3)①
14	4	変更	(Q)の文章を、次のように変更した。 図3において、(1)の1辺 x cmの正方形の面積、(2)の縦3 cm、横 x cmの長方形の面積、(1)と(2)を合わせた面積は、それぞれどのような式で表せますか。	編集の具体的内容(3)①
16	2	変更	囲みの中を、次のように変更した。 (メモ) $x^2 - 3x - 5$ の場合 x^2 の次数は2 $-3x$ の次数は1 -5 は定数項 もっとも大きい2が多項式の次数	編集の具体的内容(3)①
16	15	変更	文字式のグループ分けについて、かんなの考え、ひびきの考えとし、それぞれ次のように表した。 かんなの考え 私は2つに分けました。 ア. $x^2 + 9$, $1 - a^3$, $x - 2y + z$, $\frac{2}{3}x + \frac{1}{3}y$ イ. $3x$, x^2 , $-2xy$, abc ひびきの考え 私は3つに分けました。 ア. $x - 2y + z$, $3x$, $\frac{2}{3}x + \frac{1}{3}y$ イ. x^2 , $x^2 + 9$, $-2xy$ ウ. abc , $1 - a^3$	編集の具体的内容(3)①

(別紙2)

17	6	削除	右側に囲まれた「 $2x$ と $4x$ は同類項」は、本文にも書かれている内容であるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
17	13～15	変更	式変形の右に矢印で書かれているコメントを、式と式の間に()で挿入した。 以下、同種のものは同様に変更した。	編集の具体的内容(3)①
17	17	変更	同類項について矢印で説明した図式について、次のように変更した。 (メモ) $3a^2$ と $2a^2$ は同類項 a と $-7a$ は同類項	編集の具体的内容(3)①
18	10	追加	筆算の前には(筆算)という言葉を追加した。これは、筆算の場合、通常の点字を読む向きと異なり、上下に並んだ式を確認しなければならないため、最初に上下に配置されていることを明記するようにした。	編集の具体的内容(3)⑥
19	6～7 図	変更 削除	かなとひびきの考えを表した図を削除し、2人のセリフを次のように変更した。 かな「長方形の面積だから(縦)×(横)の式で表せばいいね。縦は3、横は $2x$ と $5y$ をあわせて $2x+5y$ として面積を求めると、 $3 \times (2x+5y)$ となる。」 ひびき「2つの長方形の和として考えたよ。縦3、横 $2x$ の長方形と縦3、横 $5y$ の長方形の面積の和を求めると、 $3 \times 2x + 3 \times 5y$ となる。」	編集の具体的内容(3)①
19	14 17	削除	分配法則の計算を示した図式について、本文と、例3の式変形で確認できるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
22	6～9	削除 変更	4人の考えを表した図を削除し、みか、ひびき、まなのセリフを次のように変更した。 みか「縦 $3a$ cm、横 b cmの縦長の長方形が、横に4つ並んでいるとみなせるね。」 ひびき「縦 a cm、横 $4b$ cmの横長の長方形が縦に3つ並んでいるともみなせるよ。」 まなと「大きな長方形の、縦の長さは $3a$ cm 横の長さは $4b$ cmはわかるね。」	編集の具体的内容(3)①
22	12	変更	係数の積と文字の積に関する図式について、次のように変更した。 (メモ)	編集の具体的内容(3)①

(別紙 2)

			$3a \times 4b = 12ab$ 係数の積 $3 \times 4 = 12$ 文字の積 $a \times b = ab$	
24	7	変更	解答例の右の囲みについて、文章のみを（メモ）として残し、メモに書かれていた式は解答例 1 に挿入した。また、約分をする際の組を（ ）で入れた。 解答例 1 $12ab \div 3a = \frac{12ab}{3a}$ $= \frac{12 \times a \times b}{3 \times a}$ （分子の 12 と分母の 3，分子の a と分母の a をそれぞれ約分する） $= \frac{4 \times 1 \times b}{1 \times 1}$ $= 4b$ 以下、約分については、同様に変更した。	編集の具体的内容(3)①
27	4	変更	問 1 の右の囲みについて、次のように表した。 （メモ） 1. $2x + 5y$ $x = -3$, $y = 2$ を代入する $2 \times (-3) + 5 \times 2$	編集の具体的内容(3)①
28	9 ～11	変更	左右に書かれた 2 つの式を上下に書き換えた。それに伴い、(2)の文章を「上の式から下の式を引きなさい」と変更した。	編集の具体的内容(3)①
31	8	削除	2 けたの自然数の例を示した囲みについて、囲みの中の $10a + b$ を、点字でも具体数と対応させるように表記することが難しいため、24 と 83 のみを示した。	編集の具体的内容(3)①
32	図	変更	例 3 の解答例における図について、触って半径を捉えやすいように、半径の位置を 3 時の位置に変更した。	編集の具体的内容(3)①
33	図 7	変更	トライ 1 のトラックの図について、第 1，第 2 レーン以外の線を削除した。また、図には「内側のコースは第 1 レーン，外側のコースは第 2 レーン」と説明を入れた上で、図にはゴールライン，直線部分，半円部分のみを示した。レーンの幅の説明については，問題文の最後の一文を「ただし，各レーン	編集の具体的内容(3)②

(別紙2)

			の幅は1 mで、走る距離は、各レーンの内側のラインの長さと考えます。」と変更した。 また、最後の先生のセリフの「第1, 第2レーンのスタート位置が決まったら、ほかのレーンのスタート位置も決めましょう。」の部分「第1, 第2レーンのスタート位置が決まったら、レーンが増えたときのスタート位置も考えてみましょう。」に変更した。	
33	図	削除	先生とかんなのセリフの横の図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
35	図	削除	問2の図について、等式の変形が主たる目的であるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
38～ 39		変更	レポートの例について、点字で書けるように次のように変更した。 レポートの例 倍数の見分け方 5月16日 2年3組 〇〇〇〇 1. テーマを選んだ理由 3の倍数の簡単な見分け方を学んだとき、3以外の倍数にも見分け方があると先生が言っていたので、調べてみようと思いました。 2. 調べ方 図書館でかりた本とインターネットを使って、見分ける方法を調べてみました。 3. わかったこと 倍数の簡単な見分け方 2の倍数 — 下1けたの数が0, 2, 4, 6, 8のとき 3の倍数 — それぞれの位の数をたした和が3の倍数のとき 4の倍数 — 下2けたの数が4の倍数のとき 5の倍数 — 下1けたの数が0か5のとき 6の倍数 — それぞれの位の数をたした和が3の倍数で、さらに、下1けたの数が2の倍数のとき 9の倍数 — それぞれの位の数をたした和が9の倍数のとき	編集の具体的内容(3)①③ ノートの日付と組について、原典教科書は伏字となっているが、点字の場合、メの字を伏字として用いた場合と数字ではその後のマス空けが異なるため、仮の日付、組を入れた。

			4. 9 の倍数の見分け方の説明 3 けたの数の場合で 9 の倍数の見分け方が正しいことは、次のように説明できます。 100 の位の数を a，10 の位の数を b，1 の位の数を c として，3 けたの数は $100a + 10b + c$ と表すことができる。 $100a + 10b + c$ $= (99a + a) + (9b + b) + c$ $= (99a + 9b) + (a + b + c)$ $= 9(11a + b) + (a + b + c)$ $11a + b$ は整数であるから，$9(11a + b)$ は 9 の倍数である。 よって，$a + b + c$ が 9 の倍数のとき，$100a + 10b + c$ は 9 の倍数となる。 5. 感想 いろいろな倍数の見分け方を知ることができただけでなく，それが正しいことを，文字を使って説明できたのでよかったです。	
41	図	削除	問 3 の図について，問題文で説明されているため削除した。	編集の具体的内容(3)①
44	絵 5	削除 変更	黒板の絵を削除し，絵にかかれた内容を直前の文章とあわせて，次のように変更した。 かなさんの学校では，もうすぐ職業体験実習が行われます。先生が班決めについて話しています。 「職業体験実習のために，いくつかの班をつくりましょう。1 つの班の人数は 3 人か 2 人で，クラス 30 人全員がどこかの班に入るようにします。」	編集の具体的内容(3)①
45	7	変更	問 1 の x と y の対応表は，横に x と y，縦に数を示し，縦横入れ替え，x と y の値の対応を横に読むことで触って理解しやすいようにした。 以下，同種の表は，同様に変更した。	編集の具体的内容(3)②
46	13	削除	解のかき方の例については，(メモ)とした。また，点字使用生徒がノートにかくことが難しい表記は削除した。 (メモ) 解 $x = 8$，$y = 3$ を $(x, y) = (8, 3)$ とかくこともある。	編集の具体的内容(3)②

(別紙2)

46	13	変更	原典教科書では、解いた連立方程式をすぐに確認できるが、点字教科書ではページが変わることもあり、すぐに確認できないため、「$x = 8$，$y = 3$は上の連立方程式の解であるから」を、次のように変更した。 $x = 8$，$y = 3$は 連立方程式 $3x + 2y = 30$ $x + y = 11$ の解であるから，	編集の具体的内容(3)②																		
47	10 表	変更	問4を次のように変更した。 ひびきさんは、2つの2元1次方程式 $x - 4y = -3$と$3x + 2y = 12$の解を、それぞれ 表4をつくって調べました。 表4 <table><tr><td>$x - 4y = -3$</td><td>$3x + 2y = 12$</td></tr><tr><td>$x \quad y$</td><td>$x \quad y$</td></tr><tr><td>-3 0</td><td>-3 21／2</td></tr><tr><td>-2 1／4</td><td>-2 9</td></tr><tr><td>-1 1／2</td><td>-1 15／2</td></tr><tr><td>0 3／4</td><td>0 6</td></tr><tr><td>1 1</td><td>1 9／2</td></tr><tr><td>2 5／4</td><td>2 3</td></tr><tr><td>3 3／2</td><td>3 3／2</td></tr></table>	$x - 4y = -3$	$3x + 2y = 12$	$x \quad y$	$x \quad y$	-3 0	-3 21／2	-2 1／4	-2 9	-1 1／2	-1 15／2	0 3／4	0 6	1 1	1 9／2	2 5／4	2 3	3 3／2	3 3／2	編集の具体的内容(3)②
$x - 4y = -3$	$3x + 2y = 12$																					
$x \quad y$	$x \quad y$																					
-3 0	-3 21／2																					
-2 1／4	-2 9																					
-1 1／2	-1 15／2																					
0 3／4	0 6																					
1 1	1 9／2																					
2 5／4	2 3																					
3 3／2	3 3／2																					
48	絵	削除	2つの花束の絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①																		
48	絵 7	削除 変更	トライ1の枠内の絵を削除し、次のように文章で 表した。 ア. カーネーション5本とユリ2本で1900円 イ. カーネーション3本とユリ2本で1500円	編集の具体的内容(3)①																		
48	絵	変更 削除	先生のセリフの横の絵は、簡略化して点図化し、 まなとのセリフのあとの絵は点図化したものと同じ であるため削除した。	編集の具体的内容(3)①																		
49	絵 6	削除 変更	トライ2の枠内の絵を削除し、次のように文章で 表した。	編集の具体的内容(3)①																		

(別紙 2)

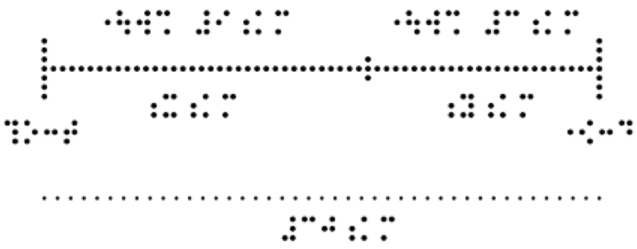
			ア. カーネーション 5 本とユリ 2 本で 1900 円 イ. カーネーション 2 本とユリ 1 本で 860 円	
49	16	変更	花束の金額の絵を削除し、次のように(Q)の文章に追加した。 C店では、A店やB店と異なる値段設定で、カーネーションとユリのセットを販売しています。 C店では、カーネーションを1本あたりいくらかで販売しているのでしょうか。 ア. カーネーション 5 本とユリ 2 本で 1900 円 イ. カーネーション 2 本とユリ 3 本で 1530 円	編集の具体的内容(3)①
50	1	変更	文章を次のように変更した。 トライ 1 において、連立方程式で考える。 ア. カーネーション 5 本とユリ 2 本で 1900 円 イ. カーネーション 3 本とユリ 2 本で 1500 円であった。 カーネーション 1 本あたりの値段を x 円, ユリ 1 本あたりの値段を y 円とする。	編集の具体的内容(3)②
50	絵	削除	連立方程式の計算を対応させた図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
50	21	変更	A B C D を用いて表された連立方程式は (メモ) として、次のように表した。 (メモ) ① $A = B$ ② $C = D$ ① - ② ③ $A - C = B - D$	編集の具体的内容(3)②
50	21	追加	問 1 の文章について、どの連立方程式の解であるかがわかるよう、次のように変更した。 $x = 200, y = 450$ が○ページの連立方程式 $5x + 2y = 1900 \quad \cdots \textcircled{1}$ $3x + 2y = 1500 \quad \cdots \textcircled{2}$ の解であることを、①②の式に代入して確かめなさい。	編集の具体的内容(3)③
51	6	変更	例 1 の解答例で、「①, ②の左辺どうし, 右辺どうしをたすと」を, 点字使用生徒がノートにかく内容を考慮し、「①+②」と簡潔に表した。	編集の具体的内容(3)①
51	15	削除	Note の内容は、墨字のノート作成の際に気を付けることなので削除した。	編集の具体的内容(3)①

(別紙 2)

51	9	変更	A B C Dを用いて表された連立方程式は (メモ) として、次のように表した。 (メモ) ① $A = B$ ② $C = D$ ① + ② ③ $A + C = B + D$	編集の具体的内容 (3) ②
52	8	変更	例 2 の解答例で, 「②の両辺を 2 倍して①からひくと」を, 点字使用生徒がノートにかく内容を考慮し, 「① - ② $\times$ 2」と簡潔に表した。なお, 式の両辺を 2 倍するということが初出であるため, $4x + 2y = 1720$ の後ろに (② $\times$ 2) と入れた。 なお, これ以降は, 式を何倍かしても入れていない。	編集の具体的内容 (3) ①
52	絵	削除	連立方程式の計算を対応させた図を削除した。	編集の具体的内容 (3) ①
52	12	変更	A B C Dを用いて示した部分は (メモ) に変更した。 (メモ) $A = B$ ならば $AC = BC$ $(2x + y) \times 2 = 860 \times 2$	編集の具体的内容 (3) ①
53	7	変更	例 3 の解答例で, 筆算を用いた表記を省略し, 「① $\times$ 3 + ② $\times$ 2」と簡潔に式の操作手順を追加した。	編集の具体的内容 (3) ①
54	絵	変更	カーネーションとユリの合計金額を示した絵を削除し, かなのセリフの前に次のように文章で表した。 ア. カーネーション 5 本とユリ 2 本で 1900 円 イ. カーネーション 2 本とユリ 1 本で 860 円	編集の具体的内容 (3) ①
55	13	削除	例 5 の右の囲みについて, 例 5 の説明と重複するため削除した。	編集の具体的内容 (3) ①
55	19	変更	ルーのセリフを, 次のように変更した。 ルー「$x - 3$ にかっこをつけて代入したよ。」	編集の具体的内容 (3) ①
56	11	変更	例 1 の右の補足を, 次のように変更し, 解答のあとに入れた。 (メモ)	編集の具体的内容 (3) ①

(別紙 2)

			②のかっこをはずすとき、分配法則を利用する。 $3(x - y) + 4x$ $= \dots$	
57	10	変更	例 2 に対する解答例で、「①の両辺に 12 をかけると」を「①×12」に変更した。 また、③の式のあとを「③－②×4」と簡潔に示した。	編集の具体的内容(3)①
57	10	変更	先生のセリフを次のように変更し、解答例の後に入れた。 先生「①の係数を整数にするには、分母の最小公倍数をかけるとよいですね。」	編集の具体的内容(3)③
58	4	変更	例 3 の解答例の右の図式を、次のようにルーのセリフに変更し、(解答例)の前に入れた。 ルー「この方程式を連立方程式の形に書き換えられないかな？」	編集の具体的内容(3)①
58	8	変更	例 3 の解答例の②のあとを「①×4－②」と簡潔に示した。	編集の具体的内容(3)①
58	15	削除	$A = B = C$ の方程式の変形に関する囲みについて、本文の内容と同様であるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
60	絵	削除	ペットボトルの絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
60	8	変更	原典教科書では、表の中はすべて空らんで、1本の値段の合計のみが斜線となっているが、点字の表で数値がまったくない中、合計に――を入れても意味を捉えづらいため、お茶とジュースの1本の値段の数値を入れた。	編集の具体的内容(3)②
61	写真	削除	いの町 紙の博物館の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
61	11	変更	例 1 の解答例の②のあとを「①×2－②」と簡潔に示した。	編集の具体的内容(3)①
61	16	変更	「問題に適しているかを確認する。」を「求められた x と y の値が問題に適しているかを確認する。」と変更し、()に入れて解答例の後に記した。	編集の具体的内容(3)①
62	写真	削除	トライ 1 の青梅マラソンの写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
62	図	変更	みかの考えを表した図について、時間の表記を省略し、次のように変更した。なお、合計 4 時間かかったことを示すため、原典教科書 p 63 の表の、時間の合計の欄に 4 を追加した。	編集の具体的内容(3)①

																				
63	図	削除	(Q)に対応する数直線図について、実際に問題を考える際には図を読み取りながら考えるよりも、表に整理しながら考えることになるため、図を削除した。 また、ルーのセリフを「表 7 を使って考えてみよう。」とし、問題文と表の間に入れた。	編集の具体的内容(3)①																
64	絵	削除	バスに乗り遅れた男性のイラストを削除した。	編集の具体的内容(3)①																
64	図	変更	問 3 の図を次のような表に変更した。 家～バス — 家からバス停までの間 バス～駅 — バス停から駅までの間 <table><tr><td></td><td>家～バス</td><td>バス～駅</td><td>合計</td></tr><tr><td>道のり</td><td>□m</td><td>□m</td><td>1000m</td></tr><tr><td>分速</td><td>80m</td><td>200m</td><td></td></tr><tr><td>時間</td><td>□分</td><td>□分</td><td>6 分半</td></tr></table>		家～バス	バス～駅	合計	道のり	□m	□m	1000m	分速	80m	200m		時間	□分	□分	6 分半	編集の具体的内容(3)①
	家～バス	バス～駅	合計																	
道のり	□m	□m	1000m																	
分速	80m	200m																		
時間	□分	□分	6 分半																	
64	写真	削除	問 4 の姫路城の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①																
65	写真	削除	例 2 のボランティア活動の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①																
65		変更	例 2 の解答例では、連立方程式の後、すぐに解が書かれているが、解答例の右側の計算過程を解答例の中に挿入した。	編集の具体的内容(3)①																
65	20	追加	みかさんがつくった連立方程式を文章中に入れたが、その際、2 つめの式の右辺に□を追加した。	編集の具体的内容(3)①																
66	絵	削除	トライ 2 の動物園のイラストを削除した。	編集の具体的内容(3)①																
66	10	変更	トライ 2 の問題文のあとの対話を、次の順で示した。 先生のセリフ ひびきのセリフ (今日の入園者数を x , y にした表を参照) かんなのセリフ みかのセリフ (昨日の入園者数を x , y にした表を参照) まなとのセリフ	編集の具体的内容(3)①																

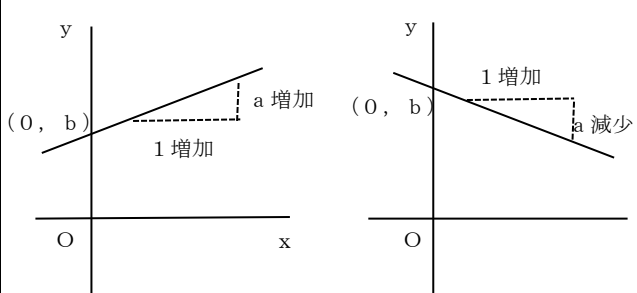
(別紙 2)

67	絵	削除	1のお茶とおにぎりのイラストを削除した。	編集の具体的内容(3)①
69	5	変更	2の問題文中の2つの連立方程式を、問題文のあとにア.イ.として示した。	編集の具体的内容(3)③
70	絵	削除	お菓子セットを表したイラストを削除した。	編集の具体的内容(3)①
71	図	変更	比例のグラフを示した図について、方眼を省略し、それぞれのグラフで1点ずつ通っている点がわかるようにした。	編集の具体的内容(3)②
72	写真 図	削除	水そうの写真と図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
73	図	変更	トライ1において、水そうの図を6個ずつかかれている水そうの図を、3個ずつに変更した。	編集の具体的内容(3)①
74	18	削除	1次関数の式に関する囲みについて、本文と同様の内容のため削除した。	編集の具体的内容(3)①
75	図	変更	線香の図について、火をつけはじめの図と、 x 分後の図に分けて示した。	編集の具体的内容(3)①
76	5 表	変更	表中で、増加量を示した矢印を省略し、表を一度だけ示した上で、増加量の違いについては、次のような文章で表した。 xの値が1ずつ増加すると、yの値は2ずつ増加する。 xの値が2ずつ増加すると、yの値は4ずつ増加する。 xの値が3ずつ増加すると、yの値は6ずつ増加する。	編集の具体的内容(3)①
77	3	変更	例1の表について、上下の矢印を省略し、表のみを示した。	編集の具体的内容(3)①
78	2	変更	(Q)の文章について、「図にかき入れましょう」を「図4に印をつけましょう」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
78	9～ 10	変更	問1の「(Q)において」を「(Q)の1次関数 $y = 2x + 3$ について」に変更し、「上の図にかき入れなさい」を「図3にかくとどうなるか考えてみましょう」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
79	図	変更	$y = 2x$を平行移動させる図について、次の2つの図に分けて示した。 1. 点の平行移動を示した図 2. $y = 2x$, $y = 2x + 3$のグラフを示した図	編集の具体的内容(3)②
79	22	削除	問2について、「また、そのことを利用して、関数のグラフをかきなさい」という部分を削除した。	編集の具体的内容(3)③
80	図	変更	トライ1の図について、次の2つの図に分けて示	編集の具体的内容(3)①

(別紙2)

			した。 1. 右上がりの①, ② 2. 右下がりの③, ④	
80	図	変更	切片を表す図について, グラフ中の「切片」という言葉を省略し, グラフの上に「切片の座標 (0, b)」と示した。	編集の具体的内容(3)①
80	23	変更	直線の式と切片の関係を示した囲みについて, 次のように表した。 (メモ) 直線 $y = a x + b$ の式では b の部分が切片である。	編集の具体的内容(3)①
81	4	変更	直線の式と傾きの関係を示した囲みについて, 次のように表した。 (メモ) 直線 $y = a x + b$ の式では a の部分が傾きである。	編集の具体的内容(3)①
81	図	変更	グラフにおける変化の割合の意味を表す図について, 次の2つの図に分けて示した。 1. x の値が1増加すると y の値が2増加することを示した図 2. x の値が2増加すると y の値が4増加することを示した図 なお, 原典教科書通りにかくと, y 軸をまたいでしまうため, 1. の図については, 0, 3) から (1, 5) と, (1, 5) から (2, 7) の2カ所に, 右へ1進み, 上に2進む様子を入れた。2. の図については, (-1, 1) から右へ2進み, 上へ4進むのではなく, (0, 3) から右へ2進み, 上へ4進む様子を入れた。	編集の具体的内容(3)②
81	図	変更	$y = x + 3$, $y = 2 x + 3$, $y = 3 x + 3$ の3つの1次関数のグラフを示した図について, 各直線の両端にア. ~ウ. の記号を付け, グラフの上に, 次の説明を示した。 ア. $y = x + 3$ イ. $y = 2 x + 3$ ウ. $y = 3 x + 3$	編集の具体的内容(3)①
82	図	変更	例1の図について, 次の2つの図に分けて示した。 1. 右へ1進むとき下に2だけ進むことを示した図	編集の具体的内容(3)②

(別紙 2)

			2, 右へ2進むとき下に4だけ進むことを示した図	
82	20 ～22	変更	看板や道路標識を見ることが探することは難しいので、最後の段落を次のように変更した。 スロープや坂道の近くには、こう配（傾斜の角度）を表した、看板や道路標識が立っていることがあります。兵庫県神戸市には、図13のような傾きぐあいの坂道があり、その近くに車椅子を後ろから押すイラストと「こう配6% 助け合いましょう」とかかれた標識が立っています。	編集の具体的内容(3)③
83	2	削除	傾きと切片を示した囲みについて、本文と同じ内容のため削除した。	編集の具体的内容(3)①
83	図	変更	まとめの図について、次のように表した。 1. $a > 0$ のとき 2. $a < 0$ のとき 	編集の具体的内容(3)②
83	図	変更	表・式・グラフの3つの関係図を削除し、次のように表した。 1次関数 $y = 2x + 3$ について、x と y の値の関係を表とグラフにあらわすと、 式の x の係数2は 表では「x の値が1増加したときの y の増加量（変化の割合）」に等しく、グラフでは「傾き」をあらわす。 式の定数項3は、表では「$x = 0$ のときの y の値」であり、グラフでは「切片」を表す。	編集の具体的内容(3)①
84	4～ 12 図	変更 削除	トライ2の文章および先生・まなと・ひびき・みかのセリフを次のように変更し、生徒の考えの図を削除した。 1次関数 $y = 3x - 2$ のグラフのかき方を考えましょう。 先生「どのような点をとればグラフをかけると考えましたか。」 まなと「切片が-2だから、点(0, -2)と点	編集の具体的内容(3)② ③

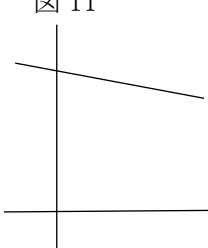
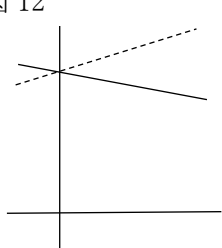
(別紙 2)

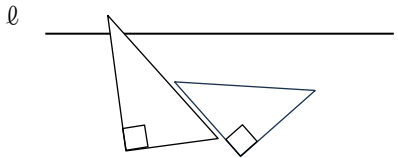
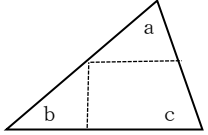
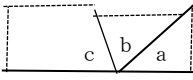
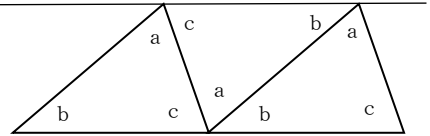
			(1, 1) をとって、直線で結ぶ方法を考えました。」 ひびき「グラフ用紙の端にある点 (-1, -5) と点 (2, 4) をとって、直線で結ぶ方法を考えました。」 みか「きれいにかくために4つの点 (-1, -5), (0, -2), (1, 1), (2, 4) をとって、直線で結ぶ方法を考えました。」	
85	21	変更	傾きと座標の移動の関係について示した図式を、 「傾き $\frac{1}{2}$ の分母は右に2移動し、分子1は上に1移動することを表す。」とし、ルーのセリフの前に入れた。	編集の具体的内容(3)①
86	図	削除	問6では、グラフ用紙にグラフをかく課題となっているが、グラフをかき込む作業を教科書の紙面で行うことは難しいため、グラフ用紙を削除した。 以下、同種の課題については同様に変更する。	編集の具体的内容(3)⑤ 生徒が作業しやすい大きさのグラフ用紙を準備するとよい。
87	図	変更	例3に関する2つの図を1つに表した。なお、方眼を省略し、(2, 5) と (6, 3) のみを示した。	編集の具体的内容(3)②
89	20	変更	トライ1の解答例3では、連立方程式の後、すぐに解が書かれているが、①-②として、解答例の右側の計算過程を解答例の中に挿入した。	編集の具体的内容(3)①
90	5	追加	図からグラフが通る点の座標を読み取ることが難しい場合もあるため、次のようにルーのセリフを追加した。 ルー「1. は点 (2, 3) 2. は点 (1, 1) 3. は点 (4, 1) を通っているよ。」	編集の具体的内容(3)①
93 ～95	図	削除	問1・問2・問3のグラフ用紙を削除した。	編集の具体的内容(3)⑤
95	図	削除	まとめに関する図について、本文と同じ内容のため削除した。	編集の具体的内容(3)②
96	3	変更	(Q)において、「次の2つの点をかき入れましょう」を「次の2つの点の関係を考えましょう」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
96	図	変更	(Q)の図について、次の2つの図に分けて示した。 1. 方程式 $2x - y = 1$ のグラフと 方程式 $x + y = 5$ のグラフ	編集の具体的内容(3)②

(別紙 2)

			2. 点(2, 3)のみ	
97	7	変更	「連立方程式の解」と「2直線の交点の座標」の関係を図式化したものを、次の文章に変更し、解答例のあとに入れた。 (メモ) 「連立方程式の解」は「2直線の交点の座標」と同じ。	編集の具体的内容(3)①
97	10	変更	解答例では、連立方程式の後、すぐに解が書かれているが、解答例の右側の計算過程のうち、①を②に代入した形のみ、解答例の中に挿入した。	編集の具体的内容(3)①
98	図	削除	1と「調べよう」のグラフ用紙を削除した。	編集の具体的内容(3)⑤
99	写真	削除	水を熱している写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
99	11 表	変更 削除	みかのセリフについて、表で示されている内容も追加し、次のように変更し、表を削除した。 みか「1分ごとの水温の変化を調べてみよう。xの値が0から1に増加したとき、yの増加量は5.7になっているね。xの値が1から2、2から3、3から4というように、1増加するときのyの増加量はそれぞれどうなっているのかな。」	編集の具体的内容(3)①
99	図	変更	グラフ用紙の目盛りについて、縦軸は10℃刻みとした。	編集の具体的内容(3)②
100	図	変更	グラフについて、方眼を省略し、(10, 600), (12, 600), (20, 1000)のみを示した。また、縦軸の「家」「学校」の文字を省略した。	編集の具体的内容(3)②
101	14～ 15	変更	「xとyの関係を、全ページのトライ2のグラフにかき入れなさい」を「xとyの関係について、どのようなグラフになるかを考えましょう」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
101	18	変更	ルーのセリフを次のように変更した。 ルー「兄やバスの動きのグラフをイメージしよう。」	編集の具体的内容(3)③
102	27	変更	問3について、「そのグラフを、右の図にかき入れなさい」を「そのグラフを、図37にかくとするとどのようなか考えなさい」と変更した。	編集の具体的内容(3)③
103	図	削除	1(2)のグラフ用紙を削除し、「グラフに表わしなさい」を「グラフで考えなさい」に変更した。	編集の具体的内容(3)③ ⑤
104	写真	削除	ダイアグラムの写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
104	図	変更	グラフ用紙にかいたダイアグラムについて、方眼	編集の具体的内容(3)②

(別紙 2)

			を省略し、グラフ以外には、 $y = 8$ 、 $y = 14$ のみを裏線で示した。なお、 x 軸の目盛りは、0, 10, 20, 30, 40, 50 を、 y 軸の目盛りとしては、0, 5, 8, 10, 14のみを示した。	
105	写真	削除	山陰本線の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
106	図	削除	2のグラフ用紙を削除した。	編集の具体的内容(3)⑤
110	写真	変更	5種類の模様を並べて広い範囲を示した写真を、模様の特色が分かる最小範囲を取り出して、模様を1つずつ点図化した。	編集の具体的内容(3)①
110	図	変更	鱗模様の一部を点図化した。	編集の具体的内容(3)①
111	図	変更	(Q)の図の一部を点図化した。	編集の具体的内容(3)①
112	3～5 図	変更	文章と図を次のように変更した。 次の図 11 は、1本の棒に2本の棒をピンでとめた模型を図式化したものです。 棒は、図 12 のように自由に動かすことができる。下の横棒を動かさないで、上の横棒を縦棒との交点を固定して動かしたり、逆に上の横棒を動かさないで下の横棒動かしたりしてみましょう。 図 11  図 12 	編集の具体的内容(3)①
113	図	削除	対頂角の性質を説明する図について、直前の図でも $\angle a \sim \angle d$ が示されており、それを利用できるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
113	図	削除	まとめ「対頂角の性質」にある図は、対頂角の説明の図で確認できるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
114	図	変更	同位角と錯角を確認する図について、直線mを水平になるようにした。 点字では、水平な直線があると、それを基準として触って確認しやすいため、できるだけ水平な直線を入れるようにした。	編集の具体的内容(3)①
115	図	削除	かんなのセリフのあとの図について、トライ2の問題の図で確認できるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
116	図	変更	問5の図について、直線 l 、 n を水平になるよう	編集の具体的内容(3)①

			にした。	
116	8 図	変更	(Q) の文章と図を、次のように変更した。 図 24 のように、直角二等辺三角形の三角定規の直角と接しない辺を線分 1 に合わせ、もう 1 種の三角定規の辺を沿わせて動かして、平行線をかくことができます。 	編集の具体的内容(3)①
117	図	削除	まとめ「平行線の性質」「平行線になるための条件」の図について、それまでに出てきた図で確認できるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
118	図	削除	トライ 1 の図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
118	図	変更	かんなのセリフのあとの図を、次のように変更した。 1.  2. 	編集の具体的内容(3)②
118	図	変更	ひびきのセリフのあとの図について、三角形の数を 3 個に減らし、次のように変更した。 	編集の具体的内容(3)②
119	図	削除	錯角と同位角のそれぞれについて着目させる図について、直前の図で確認できるため削除した。 錯角を確認する際には$\angle a$と$\angle d$に、同位角を確認する際には$\angle b$と$\angle e$に着目して触るように指導するとよい。	編集の具体的内容(3)①
119	図	変更	まとめの図について、○を a, △を b, □を c とした。	編集の具体的内容(3)①
120	図	削除	トライ 2 のかんなとひびきのセリフのあとの図について、トライ 2 の図で確認できるので削除した。	編集の具体的内容(3)①

(別紙2)

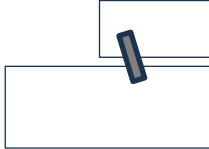
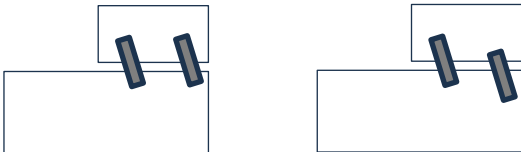
121	図	変更	分度器で鋭角，直角，鈍角を示した図について，分度器を省略し，直角と鋭角，直角のみ，直角と鈍角の3つの図に分けて示した。	編集の具体的内容(3)①
123	10	変更	ひびきのセリフのあとの表は，紙面の都合で，縦と横を入れ替えて示した。	編集の具体的内容(3)②
124	図	変更	n 角形までをイメージする図について，情報が多くなりすぎると読み取れないため，原典教科書で5まで示されているところを3までに減らして示した。	編集の具体的内容(3)②
124	図	削除	例1の図について，十角形を点図で確認することが困難であること，文章のみでも課題を解決できることから削除した。	編集の具体的内容(3)②
125	図	変更	トライ2の図について，十角形は点図で確認することが困難であるため，八角形に変更した。	編集の具体的内容(3)①
130	5～10 図	変更 削除	小学校で三角形のかき方について，次のように変更し，図を削除した。 1. 3辺の長さがわかると，三角形は1つに決まる。 (作図) (1)長さ4.8 cmの底辺BCをかく。 (2)コンパスで3.5 cmをはかりとり，中心を点Bにして，底辺の上側に弧をかく。 (3)コンパスで4 cmをはかりとり，中心を点Cにして，底辺の上側に弧をかく。 (4)2つの弧の交点を点Aとして，線分ABとACをかく。 2. 2辺の長さとその間の角の大きさがわかると，三角形は1つに決まる。 (作図) (1)長さ4.8 cmの底辺BCをかく。 (2)分度器で$\angle B$が55°になるように，点Bを始点とする半直線をかく。 (3)コンパスで3.5 cmをはかりとり，中心を点Bにして，(2)で引いた半直線と交わるように弧をかく。 (4)半直線と弧の交点を点Aとして，線分ABとACをかく。 3. 1辺の長さとその両端の角の大きさがわかると，三角形は1つに決まる。 (作図)	編集の具体的内容(3)①

(別紙 2)

			(1)長さ 4.8 cmの底辺 BC をかく。 (2)分度器で$\angle B$が 55° になるように、点 B を始点とする半直線をかく。 (3)分度器で$\angle C$が 45° になるように、点 C を始点とする半直線をかく。 (4)2本の半直線の交点を点 A として、線分 AB と AC をかく。	
136～137	全体	変更	原典教科書では、見開きを同時に確認できるようなレイアウトとなっているが、点字教科書では、「証明のしくみ」→「見通しをたてる」→「例 1」→「見通し」→「証明」→「根拠となることがら」の順に提示した。 なお、証明に関するいくつかの式を、どのように用いるかをルーが考えている図については、「見通し」で触れられているため削除した。	編集の具体的内容(3)①
138	図	変更	触って角が二等分されていることを実感できるよう、OE が垂直になるよう向きを変更した。また、線の作図過程が明確となるよう、線分 CE, DE を省略した。	編集の具体的内容(3)①
139	図	変更	例 2 の図について、証明に用いる 2 つの三角形が左右対称の位置関係となるよう向きを変更した。また、図の中の情報量を減らすため、作図順序を示す番号をすべて省略した。それに伴い、証明の図も、$\triangle COE$ と $\triangle DOE$ が左右対称になるようにした。	編集の具体的内容(3)②
145	図	削除	二等辺三角形、正三角形、平行四辺形の定義を示した 3 つの図について、定義は文章で確認できるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
145	図	削除	三角形の合同条件を示す 3 つの図について、合同条件は文章で確認できるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
146	写真 図	削除	身の回りの二等辺三角形を示した写真と、それに合わせた二等辺三角形の図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
146	図	削除	二等辺三角形の定義を表した図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
147	写真	削除	二等辺三角形を半分に折った様子がわかる写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
147	図	削除	トライ 1 の図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
148	図	変更	例 1 の図について、図の中に仮定と結論の記号を入れると、どれが仮定でどれが結論であるかわからなくなるため、かき込む記号は仮定のみとし、仮定と結論の式を図の上にかいた。 以下、同種の問題は同様に変更した。	編集の具体的内容(3)①
148	図	削除	いろいろな二等辺三角形で 2 つの底角が等しいこ	編集の具体的内容(3)①

(別紙 2)

			とを示した図について、直前の文章で確認できるため削除した。	
149	図	削除	$AD \perp BC$ であることの証明の右にある図について、(Q)の図と同じになるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
152	図	削除	正三角形の定義を表した図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
153	図	削除	ひびきとまなとのセリフに対応する図について、それぞれセリフのみで確認できるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
155	図	変更	問3の図について、触って比較しやすいよう、 $\triangle GHI$ は辺 GI が、 $\triangle JKL$ は辺 KL が水平になるよう向きを変えた。	編集の具体的内容(3)②
159	図	削除	対辺と対角を示した図について、本文と同じ内容であるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
161	図	削除	平行四辺形の性質の右に、平行四辺形の定義が文章と図で示されているが、文章のみを定理のあとに入れ、図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
163	図	削除	平行四辺形の性質[1]の逆を示した図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
165	1 図	変更	(Q)の文章を次のように変更し、図についてはノートの罫線を省略し、線分 AD に加えて、線分 BC も示した。 次の図 44 のように、長さが 4 cm の線分 AD をかきました。さらに、線分 AD と平行になるように長さ 4 cm の線分 BC をかき、 A と B 、 C と D を線分で結ぶと、四角形 $ABCD$ がかかけました。 $ABCD$ はどのような四角形ですか。	編集の具体的内容(3)③
166	2	変更	定理の右の「定義 2組の対辺がそれぞれ平行な四角形は平行四辺形である。」を「平行四辺形の定義は、2組の対辺がそれぞれ平行な四角形である。」に変更し、定理のあとに入れた。	編集の具体的内容(3)①
167	3～ 11 絵	変更 削除	トライ2と先生・みか・ひびきのセリフを、次のように変更した。また、工具箱の写真と上の段の箱が開閉する様子のイラストを削除し、工具箱を右から見た図を示した。 みかさんは、次の図 49 のような大小2つの箱を大きな箱が下の段に、小さな箱が上の段になるようにつないだ工具箱をつくりました。 上の段の箱を支えるためのアームを左右に1本ずつ取り付けてみましたが、開け閉めの途中で、上の箱が傾いてしまいました。	編集の具体的内容(3)①

			みかさんは、アームをさらに取り付けて上の段が傾かないようにしようと考えています。アームはどのように取り付けるとよいですか。考えた方法を説明しましょう。 (リンク 資料 ― 全国学力・学習状況調査) 図 49  先生「アームをもう 1 本取り付けて動きをコントロールしましょう。どこに付けられようまいくきますか？」 みか「平行になるように付けてみるのはどうかな？ (図 50 1.)」 ひびき「高さはそろっていないとダメなのかな？アームの位置をずらしたらどうなるかな？ (図 50 2.)」 図 50 1. 2. 	
168	図	削除	長方形・ひし形・正方形の定義を示した図を削除した	編集の具体的内容(3)①
169	5～12	変更	トライ 1 の表を削除し、ひびきと先生のセリフを次のように変更した。 ひびき「4 つの図形について、 1. 対角線の交わり方 2. 対角線の長さ を整理してみようよ。」 先生「対角線の交わり方について、中点で交わる場合と垂直に交わる場合をそれぞれたしかめましょう。」	編集の具体的内容(3)②
169	図	削除	定理の図を削除した。	編集の具体的内容(3)①

(別紙 2)

170	25	変更	「反例を図にかいて示しなさい。」を「反例を答えなさい。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
171	8 図	変更 削除	ひびきのセリフを次のように変更し、図を削除した。 ひびき「 $\triangle ABC$ の底辺を BC とすると高さは A から BC にむかって、垂直におろした線になるね。」	編集の具体的内容(3)①
172	図	変更	例 1 の図について、もとの四角形 $ABCD$ ，手順 1，手順 2 の 3 つの図に分けて示した。	編集の具体的内容(3)①
172	23	変更	問 3 の図の旗を点 P とし、「旗の位置を通る直線とする場合」を「点 P を通る直線とする場合」に変更した。	編集の具体的内容(3)②
173	6	変更	2 について、原典教科書のように図式的に四角形の変化を示すと、図の読み取りにかかる負担が大きいため、問題文を次のように変更した。 次の図の 1. ～ 6. は、四角形 $ABCD$ に条件を加えることで特別な四角形になる様子を表しています。次の文章はその様子を説明しています。文章中の (1) ～ (6) にはどのような条件をいれると良いか、あてはまる条件をあとのア. ～ オ. の中から選びなさい。 1. の四角形 $ABCD$ に条件 (1) をあてはめると、2. の台形 $ABCD$ になる。 2. の台形 $ABCD$ に条件 (2) をあてはめると、3. の平行四辺形 $ABCD$ になる。 3. の平行四辺形 $ABCD$ に条件 (3) をあてはめると、4. の長方形 $ABCD$ になる。 3. の平行四辺形 $ABCD$ に条件 (4) をあてはめると、5. のひし形 $ABCD$ になる。 4. の長方形 $ABCD$ に条件 (5) をあてはめると、6. の正方形 $ABCD$ になる。 5. のひし形 $ABCD$ に条件 (6) をあてはめると、6. の平行四辺形 $ABCD$ になる。 1. 四角形 $ABCD$ 2. 台形 $ABCD$ 3. 平行四辺形 $ABCD$ 4. 長方形 $ABCD$ 5. ひし形 $ABCD$ 6. 正方形 $ABCD$	編集の具体的内容(3)③

(別紙 2)

			ア. $\angle A = 90^\circ$ イ. $AD \parallel BC$ ウ. $AB \parallel DC$ エ. $AB = BC$ オ. $AB = DC$	
174	図	変更	4の図について、触って読み取りやすいように、 原典教科書よりもACとEFの距離を離れた。	編集の具体的内容(3)②
175	図	変更	3の図について、A, E, Fが密集することを避けるため、 原点教科書に比べ、平行四辺形ABCDの形を変更した。	編集の具体的内容(3)②
175	21	変更	4の問題文を次のように変更した。 次の図の五角形ABCDEと面積が等しい△APQをかきます。 ただし、PとQは直線CD上にあります。 △APQの作図の仕方を説明しましょう。	編集の具体的内容(3)③
178	図	削除	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の冊子写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
178	図	変更	原典教科書には中学2年男子の記録として6つの ヒストグラムを示しているが、点字教科書ですべて を読み取ることが困難なため、特徴的かつ比較しやすい 「握力」、「50m走」、「ハンドボール投げ」の3つを 点図化した。また、原典教科書と同じ階級では紙面に入 りきらないので、半分の階級数でデフォルメして示した。	編集の具体的内容(3)①
180	3 6	変更	トライ1の表は、読み取りの効率を上げるため、 表ではなく、数の列として示した。それに伴い、 「下の表は」を「次の1. 2. は」に変更した。	編集の具体的内容(3)①
180	図	変更	ヒストグラムは、柱状グラフの情報を確実に読み 取れるよう、隣接する棒グラフについて接する部分 の線を共有させずに示した。 以下、ヒストグラムは同様に示した。	編集の具体的内容(3)②
181	図	変更	中央値の求め方の枠の中の図を削除し、次のよう に示した。 中央値の求め方 値の大きさの順に並べて 1. データが奇数個の場合 中央にある値。 2. データが偶数個の場合 中央にある2つの値の平均値	編集の具体的内容(3)①

(別紙 2)

181	図	削除	1組と2組のヒストグラムは、一度出てきているため、先生のセリフを次のように変更し、参照先を示すことで削除した。 先生「図4のヒストグラムを使って中央値に印をつけてみましょう。何か気付くことはありますか？」	編集の具体的内容(3)①
182	図	変更	中央値と四分位数を示した図について、次のように表した。 第1－第1四分位数 第2－第2四分位数 第3－第3四分位数 第1 第2 第3 (小) ○ ○ ● ○ ○ ● ○ ○ ● ○ ○ (大) 中央値	編集の具体的内容(3)①
182	図	削除	第1四分位数と第3四分位数について、データが奇数個の場合と偶数個の場合にわけて表した図について、文章と同じ内容であるため削除した。	編集の具体的内容(3)① 指導の際は、図5を用いるとよい。
184	16 図	削除	例3の図は、本文の文章と同一内容のため削除した。	編集の具体的内容(3)①
185	写真	削除	シャトルランの写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
185	8～10	変更	「度数分布表からヒストグラムをかくと、データの分布が視覚的にわかりやすくなった。四分位数や四分位範囲を使って、データの分布をわかりやすくする図を考えよう。」を「度数分布表からヒストグラムをかくと、データの分布がわかりやすくなるものもあった。四分位数や四分位範囲を使った図を考えよう。」と変更した。	編集の具体的内容(3)①
185	図	削除	ルーのセリフのあとの、縦向きの箱ひげ図について、言葉で説明されているため削除し、縦向きの箱ひげ図が用いられている箇所を参照先として入れた。	編集の具体的内容(3)①
186	11	変更	紙面の関係から、表の縦と横を入れ替えて示した。	編集の具体的内容(3)②
186	図13	変更	例1の箱ひげ図について、箱ひげ図をかき込むことは難しいため、グループAの箱ひげ図のみを示した。また、問1について、箱ひげ図の作成が難しいため、「上の図にかき入れなさい」から「考えましょう」に変更し、作図方法を問う問題とした。	編集の具体的内容(3)① ③
187	図	追加	自分で箱ひげ図を完成させることは難しいため、トライ1の問題文のあとにグループAとグループB	編集の具体的内容(3)①

(別紙 2)

				の箱ひげ図を追加した。																
188	図	変更		トライ 2 の箱ひげ図とヒストグラムについて、関係を捉えやすくするよう、1 つの図にまとめるとともに、最小値、最大値、四分位数の位置に弱い線を追加した。	編集の具体的内容(3)②															
189	図	削除		コンピューターの画面の図を削除した。	編集の具体的内容(3)①															
189	図	削除		2 について、箱ひげ図をかくための枠を削除し、「並べてかきなさい」を「考えましょう」に変更した。	編集の具体的内容(3)③															
190	写真	削除		生徒の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①															
190	16	変更		トライ 1 の男子、女子の平均値の記録の表を、次のように 1 つにまとめて示した。 2 年生の記録の平均値 単位は m <table><tr><td>年</td><td>2012</td><td>2015</td><td>2018</td><td>2021</td></tr><tr><td>男子</td><td>21.3</td><td>21.2</td><td>20.6</td><td>20.5</td></tr><tr><td>女子</td><td>13.4</td><td>13.0</td><td>12.8</td><td>12.9</td></tr></table>	年	2012	2015	2018	2021	男子	21.3	21.2	20.6	20.5	女子	13.4	13.0	12.8	12.9	編集の具体的内容(3)①
年	2012	2015	2018	2021																
男子	21.3	21.2	20.6	20.5																
女子	13.4	13.0	12.8	12.9																
190～ 191	図	変更		原典教科書 p190 の箱ひげ図と p191 の折れ線グラフの比較がしやすいように、箱ひげ図と折れ線グラフを上下で示し、男女の図を見開きで示した。	編集の具体的内容(3)①															
191	図	削除		2 年生女子の箱ひげ図は、トライ 1 で同じ図があるため削除した。	編集の具体的内容(3)①															
192	3	変更		1 の表について、紙面の関係から、表の縦と横を入れ替えて示した。	編集の具体的内容(3)②															
192	図	変更		2 の 3 つの箱ひげ図について、比較しやすくするため 1 つにまとめて示した。	編集の具体的内容(3)①															
193	図	追加		2 について、ヒストグラムから情報を読み取るとは負担が大きいため、ヒストグラムの前に度数分布表を追加した。それに伴い、問題文に度数分布表があることを明記した。	編集の具体的内容(3)①															
194	図	変更		S さんの家から駅までの図を、問題に支障ない範囲で情報を精選して点図化した。	編集の具体的内容(3)①															
195	図	削除		点字使用の生徒がノートにかけないため、樹形図や正方形の頂点を用いた図を削除し、並び方や対戦相手の組み合わせをすべて書き出したものだけ示した。	編集の具体的内容(3)①															
196	絵 6	削除 変更		屋台のイラストを削除し、「1 の目が出たら大当たりです。」をひびきのセリフの前に入れた。	編集の具体的内容(3)①															

(別紙 2)

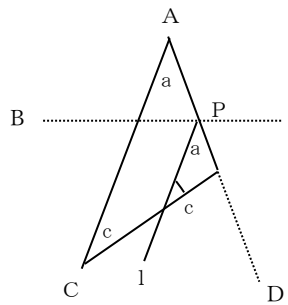
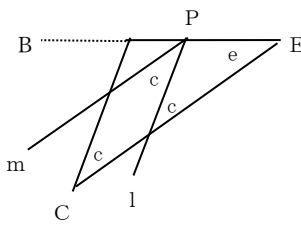
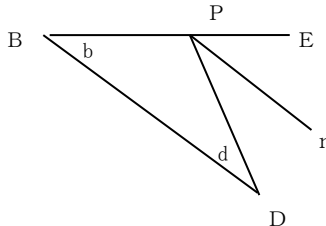
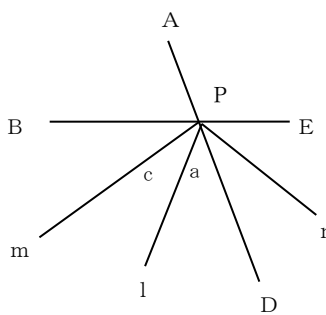
196	絵 16	削除 変更	くじ引きの屋台のイラストを削除し、「くじ引きの屋台は2つあり、AとBのどちらの屋台の方が…」を次のように変更した。 くじ引きの屋台はAとBの2つあります。 A 100 本中 30 本当たり B 200 本中 40 本当たり AとBのどちらの屋台の方が…	編集の具体的内容(3)①
197	7	変更	紙面の都合上、縦と横を入れ替えた表とした。	編集の具体的内容(3)①
198	絵	削除	さいころの目の絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
199	写真 絵	削除	例1の硬貨の写真，例2のさいころの目の絵，問2のさいころの目の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
199	17	変更	$\frac{2}{6}$ の囲みを次のように表した。 (メモ) $\frac{2}{6}$ 分子の2は3の倍数の目の出方 分母の6はすべての目の出方	編集の具体的内容(3)①
200	絵 図	削除	さいころの目の絵および，すべてのことがらと，さいころの目が出る，6の目が出ないの関係を示した図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
201	写真	変更	硬貨を，表は○と裏は点で埋めた○として点図化した。	編集の具体的内容(3)①
202	図	変更	樹形図について，原典教科書の図をそのまま点図化したもののあとに，点字でのかき方の説明を追加した。 以降，同様の樹形図は，点字のかき方で示した。	編集の具体的内容(3)①
202	写真	削除	竜血樹の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
204	図	変更	例1の表の中の囲みを省略し，ルーのセリフを次のように変更した。 ルー「目の出方は，次の表のように $6 \times 6 = 36$ （通り）あるね。そのうち，目の和が5になるのは（1，4）（2，3）（3，2）（4，1）だね。」	編集の具体的内容(3)①
203	10	削除	例1の解答例中の表について，問題文の表で確認できるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
204	3	追加	みかのセリフに「白玉3個をし1，し2，し3赤玉2個をあ1，あ2と区別してみよう。」を追加した。また，まなと，かんなの考えの中の樹形図	編集の具体的内容(3)①

(別紙 2)

				は、点字の書き方で「白 1」を「し 1」で示し、図 7, 8 とした。なお、原典教科書での○は削除し、図 8 での重複は() 内に入れて示した。																										
204	8	変更		ひびきのセリフを次のように変更し、図は、取り出した玉の組み合わせを「し 1 __ し 2」のように文字に代えて示した。 ひびき「次のように、し 1 とし 2 を取り出すことをし 1 __ し 2 と表してかき並べることもできるよ。」	編集の具体的内容(3)①																									
205	図	削除		解答例にある図について、まなとやかんな、ひびきの図で確認できるため削除した。	編集の具体的内容(3)① 原典教科書 p204 のまなとの図などを用いて指導する。																									
205	絵	削除		問 6 の袋の絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①																									
206 207	図	削除		トライ 3 および(考えよう) のイラストを削除した。	編集の具体的内容(3)①																									
208	写真	削除		2 と 4 のさいころの写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①																									
209	写真	削除		3 について、じゃんけんの写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①																									
209	図 16	削除 変更		6 枚のカードのイメージイラストを省略し、問題文を次のように変更した。 3, 4, 5, 6, 7, 8 の数字が 1 つずつかかれた 6 枚のカードから同時に 2 枚を引いて組をつくる時、…	編集の具体的内容(3)①																									
210	絵 2	削除 変更		カードの絵をすべて削除し、「右のような 6 枚のカードがあります。」を「6 枚のカード(星 3 枚, ハート 2 枚, ダイヤ 1 枚)があります。」と変更した。	編集の具体的内容(3)①																									
212～ 213	写真	削除		写真をすべて削除した。	編集の具体的内容(3)①																									
212	図	変更		バドミントンコートの図を次のように変更した。 <table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">相手のコート</td><td></td><td>(1)</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">ネット</td><td></td><td>(2)</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">自分のコート</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>					相手のコート		(1)					ネット		(2)					自分のコート							編集の具体的内容(3)①
相手のコート		(1)																												
ネット		(2)																												
自分のコート																														

(別紙 2)

	214	写真	削除	温度計と体温計の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
	215	図	削除	華氏と摂氏の関係の図式は、本文の内容と重複するため削除した。次の文章に変更し、枠の前に挿入した。	編集の具体的内容(3)①
	215	4	追加	枠内の式変形の際に、①式が離れているため、最初に①式を追加した。	編集の具体的内容(3)③
	216	写真	削除	電球の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
	216	11	変更	表を、以下のように表した。 表 1 ア. LED電球 電球 1 個の値段 1500 円 1 日 (10 時間) の電気代 1.86 円 電球の寿命 40000 時間 イ. 蛍光灯型電球 電球 1 個の値段 700 円 1 日 (10 時間) の電気代 2.97 円 電球の寿命 6000 時間 ウ. 白熱電球 電球 1 個の値段 160 円 1 日 (10 時間) の電気代 16.20 円 電球の寿命 1000 時間	編集の具体的内容(3)① 項目を省略して表形式で表す方法もあるが、それぞれの電球に関するグラフを表す活動につなげるためには、表形式で収めることよりも、それぞれの項目に関する数値を正確に確認できる表現方法を採用した。
	217	11 図	変更 追加	星形五角形を作っている 5 つの点を A～E とし、補助線をひいて考える方法の説明を、次のように変更した。 これ以外に、補助線をひいて考える方法もあります。次の図 5 のように、線分 AD と線分 BE の交点を P とし、点 P を通る補助線をひいて、平行線の性質を用いると、点 P のまわりに角を集めることができます。 図 5 1.  点 P を通り、線分 AC に平行な直線 l をひく。	編集の具体的内容(3)② 原典教科書の図では、星形五角形の中に補助線を 3 本追加し、さらにそれぞれの補助線がどの線分と平行であることを示す手段として、平行を表すマークのみで説明されている。それらを触って理解することは非常に困難であるため、補助線を 1 本ずつひく過程を言葉と図で表し、最後にそれらをまとめて表現した。

			 2. 点Pを通り，線分CEに平行な直線mをひく。  3. 点Pを通り，線分BDに平行な直線nをひく。  4. 点Pについて，1. ～ 3. をまとめる。 	
218	写真	削除	ユークリッドおよびユークリッド原論の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
219	写真	削除	自動車運転席の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
220	13	変更	365 を 30 個かけていることを表した図式について，式のあとに (365 を 30 個かけた) と示した。	編集の具体的内容(3)①
220	絵	削除	ケーキの絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①

(別紙 2)

227		変更	例題 1 の（考え方）を示した表は、1 ページに縦書きで収めるため表項目の縦横を入れかえた。 <table><tr><td></td><td>食塩水</td><td>食塩</td></tr><tr><td>A</td><td>x</td><td>$x \times \frac{8}{100}$</td></tr><tr><td>B</td><td>y</td><td>$y \times \frac{12}{100}$</td></tr><tr><td>C</td><td>600</td><td>$600 \times \frac{9}{100}$</td></tr></table>		食塩水	食塩	A	x	$x \times \frac{8}{100}$	B	y	$y \times \frac{12}{100}$	C	600	$600 \times \frac{9}{100}$	編集の具体的内容(3)②
	食塩水	食塩														
A	x	$x \times \frac{8}{100}$														
B	y	$y \times \frac{12}{100}$														
C	600	$600 \times \frac{9}{100}$														
235		変更	5 の平行四辺形 A B C D を示した図は、四角形 P Q R S を省略した図と示した図の 2 つに分けた。	編集の具体的内容(3)②												
242～ 249		変更	「中学 2 年までのまとめ」において、1 年の内容を章の順序ですべて書いたあとに、2 年の内容を章の順序で掲載した。ただし、等式の変形については、2 年の 1 章と 2 章にまたがっているため、2 章の前に次のルーのセリフを追加した。 ルー「等式の変形は、連立方程式でも使っていたね。」	編集の具体的内容(3)③												
244	図	削除	比例式の性質に関する図式について、言葉での説明で十分であるため、削除した。	編集の具体的内容(3)①												
244		変更	連立方程式の解き方の加減法について、「①の両辺を 2 倍して②をひくと」から筆算形式の表記までを省略し、 ① $\times 2 -$ ② $x = 2$ とした。	編集の具体的内容(3)①												
245	図	変更	比例のグラフと反比例のグラフに関する図を削除し、次の文章に変更した。 比例のグラフ 1. $a > 0$ のとき x が増加すると、 y も増加する。 2. $a < 0$ のとき x が増加すると、 y は減少する。 反比例のグラフ 1. $a > 0$ のとき グラフは右上と左下にある。それぞれについて、 x が増加すると y は減少する。 2. $a < 0$ のとき グラフは左上と右下にある。それぞれについて、 x が増加すると y も増加する。	編集の具体的内容(3)①												

(別紙 2)

245	図	削除	1 次関数のグラフにおいて、 $y = ax$ と $y = ax + b$ のグラフの関係を示した図について、言葉での説明で十分であるため、削除した。	編集の具体的内容(3)①
245	図	追加	1 次関数のグラフの増減を示した図について、グラフ点図で示すとともに、次の文章を追加した。 1. $a > 0$ のとき 点(0, b)を通り、x が 1 だけ増加すると、y が a だけ増加する右上がりの直線。 2. $a < 0$ のとき 点(0, b)を通り、x が 1 だけ増加すると、y が a だけ減少する右下がりの直線。	編集の具体的内容(3)①
245	図	変更	連立方程式とグラフの図について、方眼を省略し、(2, 3)のみを示した。	編集の具体的内容(3)①
246	図	削除 変更	図は基本的に言葉での説明で十分であるため、原則、削除した。 「図形の移動」については、図で表されている内容を、次の文章に変更した。 1. 平行移動 図形を、一定の方向に一定の距離だけずらすこと。 2. 回転移動 図形を、ある点 O を中心にして一定の角度だけ回すこと。 3. 対称移動 図形を、ある直線 l を折り目として折り返すこと。 「三角形の内角と外角」については、文章中の記号の位置を示すために、 $\triangle ABC$ および線分 BD, 線分 AC を示し、 $\angle ACD$ と $\angle BCE$ に弧マークを付けた。	編集の具体的内容(3)①
247	図	削除	図は基本的に言葉での説明で十分であるため、削除した。 「作図」については、図で表されている内容を、次の文章に変更した。 1. 線分 AB の垂直二等分線の作図 (1) 点 A を中心とする適当な半径の円をかく。 (2) 点 B を中心として、(1) と同じ半径の円を	編集の具体的内容(3)①

				かき，2つの円の交点をC，Dとする。 (3) 直線CDをひく。 2. $\angle AOB$の二等分線の作図 (1) 点Oを中心とする適当な半径の円をかき，半直線OA，OBとの交点をC，Dとする。 (2) 2点C，Dをそれぞれ中心として，同じ半径の円をかき，2つの円の交点の1つをEとする。 (3) 半直線OEをひく。 3. 直線l上にある点Pを通る垂線の作図 (1) 点Pを中心とする適当な半径の円をかき，直線lとの交点をA，Bとする。 (2) 2点A，Bをそれぞれ中心として，同じ半径の円をかき，2つの円の交点の1つをQとする。 (3) 直線PQをひく。 4. 直線l上にある点Pを通る垂線の作図 (1) 直線l上に適当な点Aをとり，点Aを中心とする半径APの円をかく。 (2) 直線l上に適当な点Bをとり，点Bを中心とする半径BPの円をかく。2つの円の交点のうち，Pでない点をQとする。 (3) 直線PQをひく。	
248	図	削除	「角錐の展開図」「円錐の展開図」「底辺が等しい三角形の面積」以外の図は，言葉での説明で十分であるため，削除した。	編集の具体的内容(3)①	
249	図	変更	「箱ひげ図」以外の図は，言葉での説明で十分であるため，削除した。なお，「ヒストグラム，度数折れ線」について，図で表されている内容を，次の文章に変更した。 各階級にその度数を対応させ，データの分布を示した表を「度数分布表」という。 度数分布表を柱状グラフで表したものを「ヒストグラム」という。 ヒストグラムの各長方形の上の辺の中点を結んでできる折れ線グラフを「度数折れ線」という。	編集の具体的内容(3)①	
254	図	追加	「3－2の確認問題」1の答えに，次の略解を追加した。 1. 点(－1，1)と点(0，1)を通る直線	編集の具体的内容(3)①	

(別紙 2)

				2. 点(0, 3)と点(3, 4)を通る直線 3. 点(0, 2)と点(2, 0)を通る直線 4. 点(-4, 0)と点(-4, 1)を通る y 軸に平行な直線	
	255	図	追加	「問題 A」 2 の答えに, 次の略解を追加した。 1. 点(-6, 0)と点(0, -6)を通る直線 2. 点(0, 4)と点(-2, 3)を通る直線 3. 点(0, 1)と点(-2, 2)を通る直線 4. 点(0, 3)と点(2, 0)を通る直線 5. 点(0, -2)と点(1, -2)を通る x 軸に平行な直線	編集の具体的内容(3)①
	257	図	追加	「問題 B」 4 の答えに, 次の文章を追加した。 (1) 頂点 B を通り, 線分 AC に平行な直線 l をひく。 (2) 直線 CD と直線 l の交点を P とする。 (3) 頂点 E を通り, 線分 AD に平行な直線 m をひく。 (4) 直線 CD と直線 m の交点を Q とする。 (5) 線分 AP, AQ をひく。	編集の具体的内容(3)①
	261	図	追加	「3 章 1 次関数」 4 の答えに, 次の略解を追加した。 1. 点(-2, 0)と点(0, 2)を通る直線 2. 点(-2, 0)と点(0, -4)を通る直線 3. 点(0, 6)と点(-3, 5)を通る直線	編集の具体的内容(3)①
	261	図	追加	「3 章 1 次関数」 7 の答えに, 次の略解を追加した。 1. 点(0, -4)と点(1, -2)を通る直線 2. 点(0, 4)と点(3, 0)を通る直線 3. 点(0, -1)と点(1, -1)を通る x 軸に平行な直線 4. 点(3, 0)と点(3, 1)を通る y 軸に平行な直線	編集の具体的内容(3)①